令和元年度第２回袖ケ浦市立図書館協議会

１　開催日時　　令和２年２月２５日（火）午後３時開会

２　開催場所　　中央図書館　２階　第一会議室

３　出席委員

委員長	武内　喜美子	副委員長	北原　政志
委　員	白井　由美子	委　員	鎗田　典子
委　員	大野　俊江	委　員	津村　千鶴子
委　員	髙橋　和子	委　員	光武　賢一郎
委　員	山田　真衣		

（欠席委員）　吉村　真理子　委員

３分の２以上の委員が出席であり、図書館協議会運営規則により本協議会は成立とする。

４　出席職員

教育長	御園　朋夫	教育部参事 （生涯学習課長）	小阪　潤一郎
中央図書館長	嶋田　育子	平川図書館長	小堀　正雄
長浦おかのうえ 図書館長	藤尾　善之	中央図書館 庶務班長	今坂　公一
中央図書館 奉仕班長	小倉　かおり	中央図書館 副主幹	堀野　仁美
中央図書館 主査	上村　千恵		

５　傍聴定員と傍聴人数

傍聴定員	３人
傍聴人数	０人

６　議　題

（１）令和元年度図書館事業の成果と課題について

（２）令和２年度図書館経営方針及び重点施策について

（３）令和元年度夏・秋のトショロ月間の実施結果について
（４）その他

７　議　事

議題（１）令和元年度図書館事業の成果と課題について

武内委員長：　ではまず議題（１）令和元年度図書館事業の成果と課題について、事務局から説明をお願いします。

事務局（藤尾館長）：　本日追加で配布した資料は、令和元年度の図書館の経営方針と重点施策です。議題（１）、（２）と関連しますので適宜ご参照ください。また議題（１）と（２）については関連した内容になっておりますので、事務局からの説明は続けてさせていただき、一括で審議していただきたいと思いますが、よろしいでしょうか。

各委員：　それで良いと思います。

事務局（藤尾館長）より議題（１）について
事務局（今坂班長）より議題（２）について　資料に基づき説明。

武内委員長：　ありがとうございました。議題（１）、（２）について事務局からご説明頂きましたが、ご意見、ご要望等ございますでしょうか。

武内委員長：　私から１点申し上げます。資料２ページの令和２年度重点施策の主な対応策の１点目で、平川図書館に介護予防・介護支援コーナーを作るというサービスについて記載がありますが、サービス提供にあたり、資料の充実やＰＲも必要だと思われますがいかがでしょうか。

事務局（藤尾館長）：　ご指摘のとおり、コーナーを新しく設置するためには関連資料の充実とその後のＰＲが必要です。文言として漏れてしまいましたが、議題（２）では、これに対応する重点施策（１）の主な取り組みとして記載させていただきました。

武内委員長：　他にいかがでしょうか。

光武委員：　以前にも１度お話を伺っていますが、メールマガジンの登録者数が１２月で１８０名となっており、昨年度は１６７名ということで今年度の増は１３名となっています。平成２７年度のメールマガジン配信開始当初からの

登録者数をみると初年度の６４名から少しずつ増えてきているが、現在の実績だと今年度は２０名にも達しないことが予想されます。これについては情報発信ツールとしてホームページが充実したことやツイッターの配信が始まったこともあり、ユーザーがメールマガジンの必要性を感じなくなっている可能性も考えられます。メールマガジンについてはサービス網計画の中に目標値も掲げていないが、重要視しなくても良いということでしょうか。

事務局（藤尾館長）：　光武委員が今おっしゃられたようにメールマガジンの登録者は少しずつ増えてきていましたが、ここにきて伸びが鈍くなっていることは事実です。一方で、ツイッターの配信を昨年度から始め、フォロワー数は１年間で倍以上に増えました。ツイッターは即時性があり、利用者の情報収集ツールがツイッターに切り替わっていっていることが要因の一つだと思います。図書館としましては、メールマガジンの方がより詳しいお知らせができたり、キーワード登録による新着資料の個別通知ができるなどメールマガジンならではの機能もあるため、継続していきたいと考えています。重点施策にあげたように新しいホームページの機能を紹介する中で、メールマガジンについても周知を図っていきたいと考えています。

武内委員長：　他にいかがでしょうか。

北原副委員長：　１０ページにおはなし会ボランティアについてわらべうたや手遊びの習得等記載がありますが、うちの学校でもボランティアの方におはなし会に来ていただいております。素話のスキルが大変高く、教員が本を読み聞かせするのとは違う、学校の中ではなかなか感じることのできない雰囲気であり、開催の度に良かったと感じています。

武内委員長：　実際の現場の声を聞けるのは、図書館やボランティアにとっても良いことです。

大野委員：　１２ページのおはなし会ボランティアのスキルアップ講座についてですが、６月に子どもの本の講座を開催し子どもと本をつなぐための素話の講演を行いますとありますが、これはボランティアが講演をするということでしょうか。ボランティアのスキルはそこまで高くなっているのでしょうか。

事務局（小倉班長）：　６月の講演は、講師に東京こども図書館の松岡享子先生をお招きして行う予定です。日にちについてはまだ確定しておりません。

武内委員長：　松岡享子先生は東京こども図書館の理事でおはなし会などを率先してされた大先輩ですが、講演にはなかなか来て下さらないと聞いています。

事務局（嶋田館長）：　補足をさせていただきます。平成２７年度に図書館のおはなし会ボランティアがクローバー賞を受賞した時に活動資金として２０万円の賞金を頂きました。ボランティアの皆さんからはこの賞金を活用して松岡先生をお呼びしたいとの要望があり、その時から毎年、松岡先生へ講演のお願いをしておりまして、全国から講演依頼が殺到していることもあり相当先になると言われていたものが来年度ついに実施できることになったもので、ボランティアの方々も大変楽しみにしております。

武内委員長：　是非ＰＲをして盛況な会になるように期待しております。他にいかがでしょうか。

光武委員：　今のおはなし会に関連して、７ページに７名のおはなし会ボランティアが新たに登録とありますが全員女性でしょうか。

事務局（小倉班長）：　はい、全員女性です。

光武委員：　新しいホームページのボランティアの活動のページにおはなし会、ブックスタート、すきすき絵本タイム、映画会、資料展示、工作とあり、それぞれのボランティアの登録者数が記載されています。活動中の写真も載っていて、工作や映画会ボランティアに男性がいるのはわかるのですが、男女別の登録者数を記載することは好ましくないでしょうか。男性のボランティアが少ないというのは外に発信、ＰＲしていかなくても良いものでしょうか。

事務局（嶋田館長）：　映画会ボランティアは主に男性に活躍していただいておりまして、工作ボランティア２名の方も男性です。おはなし会とブックスタート、こちらについては今のところ女性がメインになっております。前回の養成講座に男性が１名参加されたのですが、素話を覚えるのがなかなか大変だということもありまして実際の活動には至りませんでした。絵本の読み聞かせで初級までは受講し登録できても、中級編の素話はおはなしを覚えないといけないので難しくなっていると思います。今おはなし会ボランティアの方々が協力し、今年度実施した中級編でもお手本を見せてくれたり、講評に参加していただいたりということで後継者の育成にも力を入れております。男女別にというよりは意欲のある方に活動していただければと考えております。

武内委員長：　他にはございませんか。

髙橋委員：　２ページの主な課題の中の２０代から５０代の図書館利用が少ないことから、これらの勤労世代に対する積極的な働きかけが必要であると記載

がありますが、２０代から５０代といっても共働きの勤労世代から、子育て世代が３０代から４０代くらい。５０代になると今度は介護の分野に関わっていくと捉えられますので、介護関係の資料を収集していくことについては良いことだと思いました。２０代から４０代の方は、夏休み中の図書館の様子をみていても、子どもと一緒に図書館には訪れて子どもの本は沢山借りているようだが、いざ自分となると借りていかないパターンが多くみられます。子どもと一緒に図書館を訪れた保護者に向けて、手に取りやすい本があると興味をもって借りてくれるのではないでしょうか。

光武委員：　今の話と関連して、７ページに図書館に来館する時間的余裕がない勤労世代に向けての周知という記載がありますが、現役の方は時間がなくて図書館に来館できないのだと図書館として理解をされているのだと思います。対策として特設コーナーで取り上げることなどを挙げていますが、それは図書館に来館した人に向けての取り組みだと思います。来館しなければせっかくのコーナーも知りえないのだから、図書館に足を向けてもらうための対策が主な対策の中に挙げられていないように感じました。ホームページなどで展示や特設コーナーなどを周知するという方法もあるとは思いますが。

事務局（藤尾館長）：　光武委員がおっしゃられたようにまずは来館していただくこと、来館していただいた上で仕事上役立つような本が図書館にはあるのだということを周知していきたいということと、両方必要ではないかと考えます。そのため、重点施策１では働いている方たちの課題解決に役立つ資料の充実とＰＲ、重点施策４では来館する時間的余裕がない方に向けて、来館しなくても図書館のホームページを通じてリクエストやレファレンスを受付できるようになったことについて周知を図ることを記載しました。

武内委員長：　図書館は来館だけでなく、非来館型、来ない方達に向けてどうアピールしていくかを課題として持ち続けていく必要があります。

鎗田委員：　おはなし会を開く側にいて、少しずつですがまだおはなしの聞けない小さいお子さんへの読み聞かせが増えていることは感じております。その中で手遊びやわらべうたの習得を目的とした講座を実施していただけるというのは大変ありがたいことです。

武内委員長：　小さい頃から図書館を利用した子供たちがそのまま図書館を利用して、豊かな人生を送ってもらえればと思います。

大野委員：　２ページの⑩で障がい者支援課や社会福祉協議会に依頼し、障がい者サービスの対象者への周知活動をしたとありますが、効果が顕著にでたと

か手ごたえはあったのでしょうか。数字的にみるとあまり伸びていないように思いますが。

事務局（藤尾館長）：　実績をみると宅配サービスの利用登録者が３０年度が１０名で今年度は７名と減っていますが、原因としては、亡くなられた方や転出をされた方がいらっしゃったことから利用登録者数、貸出冊数ともに減となりました。ここに記載しているのは１２月までの実績ですが、１月以降に新規の申し込みがありまして、その方は社会福祉協議会で配布されたチラシをみて申し込んでくださったとのことです。１名ではありますが、成果であると思います。

大野委員：せっかく働きかけをしているので成果があればと思い伺いました。

事務局（藤尾館長）：　今回の周知活動で安心することなく、今後も様々な機会を通じて働きかけをしていきます。

大野委員：　知らないと利用もできませんので、引き続き取り組んでもらえればと思います。

光武委員：　１１ページの「図書館運営への市民参加の推進」の項目に「市民の技術や知識、経験をボランティアとして活かせる環境づくりを推進」とありますが、具体的にはどういったものがあるのでしょうか。

事務局（今坂班長）：　市の総合計画や図書館の第３次サービス網計画の中では市民との協働に重点的に取り組んでいくことをうたっております。先ほどのおはなし会ボランティア、映画会ボランティア、展示ボランティア等の意見を取り入れることにより市民の声を図書館に反映させていこうと考えております。わかりやすいものでは、映画会ボランティアでは映画好きの方が上映の解説、前説などを行ったりしております。本人の特技や趣味などを活かし反映させることで図書館事業に携わってもらいたいと考えております。工作教室やかみのおはなやさんのボランティアの方も、その方ならではの技術をもっていて、それを活かした事業を図書館で行うことで好評を得ています。個人の知識、経験、技術を図書館運営に反映させたいという考えから記載しております。

武内委員長：　このあたりでよろしいでしょうか。それでは次の議題に移らせていただきます。議題（３）令和元年度夏・秋のトショロ月間の実施結果について、事務局よりご説明願います。

事務局（小倉班長）より議題（３）について説明後、中庭イベントの映像を鑑

賞。

武内委員長：　それでは今後について皆様よりご意見がございましたら、お願いいたします。

津村委員：　秋のトショロ月間のことになりますが、行きたいと思っていたのですが駐車場がどうなっているのか気になりました。例えば昭和小学校の駐車場を借りるなどの対応はありましたか。図書館の駐車場のみで対応されましたか。

事務局（嶋田館長）：　秋のトショロ月間は１か月以上の期間開催しており、様々なイベントを開催したのですが、具体的にどのイベントの開催時のことでしょうか。駐車場については事業の際は気を付けて見回りなどを行っておりまして、図書館の事業だけで満車になってしまうケースは今までにはありませんでしたので、現時点で小学校等の借用は考えておりません。

事務局（藤尾館長）：　長浦おかのうえ図書館では、トショロ月間の事業ではありませんが著者を囲む会や本・雑誌リユースデー開催時は駐車場が満車になってしまうため、長浦公民館の小多目的広場を借用して駐車場とすることはあります。中央図書館では１つの催しのみで駐車場が満車になることは最近ではありませんが、総合教育センターが主催する調べ学習相談会の際には、昭和小学校の校庭を駐車場に借りるなどの調整を行いました。

津村委員：　今までは中庭の利用はあったのでしょうか。中庭のイベントの様子がとても良かったのでこれからも利用していくと良いと思います。

事務局（小倉班長）：　トショロの庭Ｔｅａ Ｔｉｍｅは社会教育推進員の企画で、中庭を活用しようという事で昨年度から始まったものです。普段も出入りは自由になっており、子ども連れや中学生などが休憩したり、おしゃべりする様子が見られます。

鎗田委員：　秋のトショロ月間は大変良いイベントだと思いますが、公民館まつりや他の行事と重なることが多く、日程調整に苦慮しております。公民館まつりとずらす等配慮して頂けると大変ありがたいです。難しい面もあるかと思いますが、ご検討いただければと思います。

大野委員：　夏のトショロ月間についてですが、期間が夏休みにかぶっているため「調べ学習」などで子どもの来館は増えていると思います。親子で来館する姿をよく見かけます。そういった子どもたちにもトショロ月間に参加しても

らえるよう学校や先生方からも、チラシの配布時などに働きかけをしてもらえると良いと思いますが。「夏をすずしくたのしもう」というテーマもありますし、勉強ができるスペースがあることなど学校からもＰＲしてもらうなど検討してもらえればと思います。

武内委員長：以上日程等意見があがりましたが、他にはいかがでしょうか。

北原副委員長：　学校でももっとＰＲしないといけないと感じました。人がいてあたたかい雰囲気がある場所に子どもの足は向いていきます。学校図書室でもコンセプトは「人がいる　あたたかい場所」で、学校司書がいつもいてくれます。図書室の入口は季節の飾りつけだったり、その時々でおすすめコーナーがあったり、本を探している子どもとの交流があったりもします。トショロ月間など大変良い事業を行っているので、学校でも子どもへ紹介していきたいと思いました。

白井委員：　トショロ月間で来館した子ども達は本を借りていく子が多いでしょうか。本の貸出冊数の増加にはつながっていますか。

事務局（嶋田館長）：　図書館としましては、イベント参加だけではなく、本を借りてもらいたいという気持ちがあります。イベントも開催するだけでなく、会場に関連した図書の展示をするなど、様々な試みに取り組んでおります。児童書につきましてはトショロ月間の効果といえるかはわかりませんが、貸出冊数は徐々に増えてきております。今後もただイベントを開催して終わりではなく、本を借りてもらう、本を読む楽しさを知ってもらうことを目的とした試みに取り組んでいきます。

武内委員長：　他にございますでしょうか。無いようですのでこちらからは以上です。以上をもちまして第２回図書館協議会の議事を終了し、事務局へお返しいたします。

８．報告事項

（１）令和元年度袖ケ浦市図書館電算システム更新に係るホームページのリニューアルについて

※実際にホームページの画面を見ながら、口頭で説明

（２）令和元年度「本・雑誌・リユースデー」実施報告について

（３）令和元年度図書館協議会先進地図書館視察研修報告について

（４）その他

９　閉会のことば

午後５時閉会

令和元年度第２回袖ケ浦市立図書館協議会次第

令和２年２月２５日（火）

午後３時から５時

中央図書館　２階　第１会議室

次　第

１　開会のことば

２　図書館協議会委員長挨拶

３　教育長あいさつ

４　議　題

（１）令和元年度図書館事業の成果と課題について

（２）令和２年度図書館経営方針及び重点施策について

（３）令和元年度夏・秋のトショロ月間の実施結果について

（４）その他

５　報告事項

（１）令和元年度袖ケ浦市図書館電算システム更新に係るホームページのリニューアルについて

（２）令和元年度「本・雑誌リユースデー」実施報告について

（３）令和元年度図書館協議会先進地図書館視察研修報告について

（４）その他

６　閉会のことば

第１７期袖ケ浦市立図書館協議会委員名簿

氏　　名	選出区分	備 考
たけうち　きみこ 武内　喜美子	学識経験 元千葉県立中央図書館副館長	４期目 委員長
きたはら　まさし 北原　政志	学校教育 平岡小学校校長	１期目 (H31.4.24～)
やまだ　まい 山田　真衣	学校教育 袖ヶ浦高等学校実習助手	１期目 (H31.4.24～)
しらい　ゆみこ 白井　由美子	学校教育 蔵波小学校学校司書	１期目
やりた　のりこ 鎗田　典子	社会教育 おはなし会ボランティア	３期目
おおの　としえ 大野　俊江	社会教育 公民館運営審議会委員	３期目
つむら　ちづこ 津村　千鶴子	家庭教育 子どもるーぷ袖ケ浦会員	１期目
たかはし　かずこ 髙橋　和子	家庭教育 ﾌｧﾐﾘｰｻﾎﾟｰﾄｾﾝﾀｰ提供会員、家庭教師	２期目
みつたけ　けんいちろう 光武　賢一郎	学識経験 郷土博物館市民学芸員	３期目
よしむら　まりこ 吉村　真理子	学識経験 千葉敬愛短期大学副学長	１期目

任　期　平成３０年１２月１日から令和２年１１月３０日まで

議題（１）令和元年度図書館事業の成果と課題について

１　図書館資料の充実

【主な取り組み内容と成果】

①「袖ケ浦市立図書館資料収集規程」「袖ケ浦市立図書館資料選定基準」に基づき新刊図書を中心に購入し、１２月末までに開架書架の約３．１％を更新した。

【実績（R1.12.31 まで)】
全館の開架資料３１６，８６５冊に対して新規受入９，６９５冊
（うち購入８，９８２冊）　更新率　約３．１％
【(参考)平成３０年度実績】
開架資料３１８，５８２冊に対して新規受入１３，８６６冊
（うち購入１２，６７２冊）　更新率　約４．４％
(H30.12.31まで　開架資料３２０，２３２冊に対して新規受入１０，３２５冊
（うち購入９，７５３冊）　更新率　約３．２％）

②地域の高齢化が進行する中で、市民の関心が高く、常に新しい情報が求められる社会福祉と医学関連の図書を重点的に収集した。社会福祉の分野の図書を１２月末までに全館で１３１冊収集し、同分野の全開架図書２，０２９冊の約６．５％を更新したほか、医学・薬学の分野の図書を全館で３５９冊収集し、同分野の全開架図書１０，０１２冊の約３．６％を更新した。

③中央図書館を中心に郷土資料の拡充に努め、１２月末までに市内３図書館で４５８冊の郷土資料（うち袖ケ浦市関連図書２１５冊）を収集した。

④市内のすべての図書館・図書室に設置している乳幼児向け絵本コーナーについて、保健センターや子ども館などの子育て関連施設、駅やスーパーなどの商業施設にポスターを掲示して周知を図ったほか、乳幼児向け絵本コーナーに隣接して、育児関連図書のコーナーを中央、長浦だけでなく全館に設置した。

⑤台風第１５号の被害以降、市民の関心が高まった災害関係の分野の図書を積極的に収集し、１２月末までに全館で４９冊（一般書３８冊、児童書１１冊）購入した。

⑥新聞記事データベース（朝日新聞・日本経済新聞)、国立国会図書館デジタル化資料送信サービスを、市民の調査研究支援に活用した。

【実績（R01.12.31 まで)】
朝日新聞・日本経済新聞データベース等閲覧件数１３２件
国立国会図書館デジタル化資料送信サービス閲覧件数４３件
【(参考)平成３０年度実績】
朝日新聞・日本経済新聞ﾃﾞｰﾀﾍﾞｰｽ閲覧件数１５８件（H30.12.31まで１３１件）
国立国会図書館ﾃﾞｼﾞﾀﾙ化資料送信ｻｰﾋﾞｽ閲覧件数６２件（H30.12.31まで５０件）

⑦袖ケ浦市関連の新聞記事見出し一覧を作成し、毎月ホームページ上で公開したほか、市職員向けの掲示板にエクセルによるデータを提供した。また、平成３０年度一年間分の記事索引を冊子にまとめ、郷土資料として受け入れした。
⑧おすすめ図書のリストを成人向けに２種類、児童向けに４種類、パスファインダー（調べ方案内）を一般向けに１種類、児童向けに１種類作成し、教養や調査研究、児童の調べ学習等に資する情報の提供を行った。
⑨「秋のトショロ月間」では、大人向けに様々なジャンルの本を幅広く紹介する企画として、書名が分からないように本３冊を袋に入れ、ヒントとなるテーマを表に書いた「本のおたのしみ袋」を平川図書館と公民館図書室で実施した。３館で８０セットを用意し、すべて貸出された。
⑩障がい者支援課へ依頼し、障害者手帳等の交付時に配布する「障がい福祉のしおり」に図書館の障がい者サービスの案内を綴じ込んでもらい、今後は対象者にもれなく周知できることになった。また、社会福祉協議会が開催する「障がいのある方々が集う会」の参加者全員に案内のチラシを配布してもらった。

【実績（R1.12.31 まで)】
宅配サービス　利用登録者７名　貸出点数１９０冊
うちサピエ図書館利用登録者１名、デイジー貸出点数４５点
【(参考)平成３０年度実績】
宅配サービス　利用登録者１０名　貸出点数３５９冊（H30.12.31まで２９１冊）
うちサピエ図書館利用登録者１名、貸出点数７２点（H30.12.31まで５６点）

【主な課題】
・高齢化の急速な進行に対応して、平成２９年度以降、長浦おかのうえ図書館には「闘病記コーナー」、中央図書館には「認知症コーナー」を設置したが、認知症予防だけでなく、介護予防や介護支援についてのニーズが高まっていることから、何らかの対応が必要である。
・２０代から５０代の図書館利用が少ないことから、これらの勤労世代に対する積極的な働きかけが必要である。

【令和２年度重点施策の主な対応策】
・市内でも高齢化の進行が著しい地域にある平川図書館に、新たに「介護予防・介護支援コーナー」をつくる。
・ビジネスマナーや資料作成、職場トラブル、就職案内の本など、勤労世代の課題解決に役立つ資料を充実させ、特設コーナーでも取り上げ積極的にＰＲする。

２　乳幼児期からの読書活動の推進

【主な取り組み内容と成果】

①年間をとおして、所定の時間内でいつでも参加できる「おはなしのじかん」、子ども映画会や「かみのおはなやさん」とタイアップした「おはなし会」などの取り組みにより、館内おはなし会の参加人数が増加した。また、出張おはなし会について小中学校の司書教諭や学校司書へ周知するため、学校の読書教育推進会議に児童奉仕担当者が出席して説明した。

【実績（R01.12.31まで)】各種おはなし会参加者数
館内おはなし会１，９１２名　館外おはなし会８，５２７名
公民館図書室すきすき絵本タイム　参加者数１１３名
【(参考)平成３０年度実績】
館内おはなし会２，３０１名　館外おはなし会１０，２１５名
公民館図書室すきすき絵本タイム　参加者数１１３名
(H30.12.31まで　館内おはなし会１，５１８名　館外おはなし会６，２７０名
公民館図書室すきすき絵本タイム　参加者数８０名)

②おはなし会の充実とボランティアの増員を目指し、昨年度に養成した絵本の読み聞かせボランティアを対象に、素話を習得するおはなし会ボランティア養成講座中級編（全４回、２月修了予定）を実施し、７名のおはなし会ボランティアが新たに登録予定である。

③家庭で子どもが読書に親しむ環境を充実させるため、保健センターの４か月児教室においてブックスタートを実施した。１０月からはブックスタート会場で対象児の図書館利用券の発行を開始し、１２月までに６３件の新規登録を受け付けた。また、ブックスタート事業のフォローアップとして「すきすき絵本タイム」を公民館図書室で実施した。

【実績（R01.12.31まで)】
配布数３３１組／対象者３７５名　配布率８８．３％
【(参考)平成３０年度実績】
配布数４７７組／対象者５７７名　配布率８２．７％
(H30.12.31まで　配布数３４９組／対象者４２７名　配布率８１．７％)

④こどもの読書週間（4/23～5/12）の前後には、「こどもの読書週間記念行事」として全館でスタンプラリー、おすすめ図書リストの配布などを行った。

【実績】スタンプラリー　実施期間　4/13～5/12
参加者数　延べ９８５名、記念品受け渡し人数　延べ３９６名

⑤乳幼児と保護者が気軽に図書館を利用できるように、平川図書館の「おはなしのへや」と公民館図書室の「ふれあい読書コーナー」を、開館中は「いつでも親子タイム」として開放した。１２月からは、中央図書館「おはなしのへや」を、土日の午前１０時から午後４時までの時間帯を親子で絵本の読み聞かせに利用できるよう開放した。

⑥小中学生の調べ学習に対し、年間を通して資料や情報提供を行った。夏休み期間には、総合教育センター主催の「調べ学習相談会」において資料、情報提供やレファレンスを行った。

⑦夏休み期間中に「夏のトショロ月間」を開催し、社会教育推進員が企画した「はらぺこあおむしの手づくり工作」「マザーグースでてあそび」のほか、子どもが図書館の本の貸出を体験する「自分でピッ！してみよう」や書庫探検、おはなし会ボランティアと袖ヶ浦高校と連携した「なつやすみとしょかんであそぼう」、蔵波中学校の展示や演奏会、グループサークルによる人形劇など、子どもの読書活動につながる様々なイベントを行った。

【実績】夏のトショロ月間の参加者（全館）２，１６３名
【(参考)平成３０年度実績】　夏のトショロ月間の参加者（全館）１，３１０名

⑧昭和中学校、平川中学校、袖ヶ浦高校の図書委員に中央図書館や平川図書館の児童コーナー、中央図書館の青少年コーナーにおすすめ図書の紹介・展示を協力してもらい、同世代の利用喚起につなげることができた。

⑨公民館まつりでは、図書館ボランティアや公民館図書室職員と連携し、子どもの読書普及につながる事業（平川：「秋のおはなし会」、子ども映画会、かみのおはなやさん、根形：すきすき絵本タイム、かみのおはなやさん、平岡：すきすき絵本タイム、かみのおはなやさん、大型えほんとわらべうた）を実施した。

⑩１月には、子どもが読書に親しむきっかけづくりとして、書名が分からないように絵本３冊を袋に入れて、ヒントとなるテーマを表に書いた「えほんのふくぶくろ」を実施した。全館で１１０セットを用意し、すべて貸出された。

【主な課題】

・市人口の増に伴い、ブックスタートの対象人数が平成２９年度以降は年間で５００人を超えるようになった。ブックスタートを１日に２回実施する月もあり、また会場では、図書館利用券の発行を開始するなど、ブックスタートボランティアの負担が大きくなってきている。
・子どもの発達段階に応じたおはなし会を推進するため、おはなし会ボランティアには、絵本の読み聞かせや素話だけでなく、幼児向けに手遊びやわらべうたなどのスキルを習得することが必要である。

【令和２年度重点施策の主な対応策】

・ブックスタートボランティア養成講座を開催し、ブックスタートボランティアを増員する。
・おはなし会ボランティアを対象とした「おはなし会ボランティアスキルアップ講座」を開催し、手遊びやわらべうたを習得することで、幼児向けのおはなし会の充実を図る。

・子育てや子どもの読書に関心のある多くの市民のために、「子どもの本の講座」を開催し、子どもと本をつなぐための素話についての講演を行う。

３　高齢化社会に対応した図書館サービスの充実

【主な取り組み内容と成果】

①大活字本や朗読ＣＤ等、高齢者が利用しやすい資料を積極的に収集した。９月には３館共通で「認知症について考える」というテーマの特設コーナーをつくり、関連図書の貸出だけでなく、認知症予防等のパンフレットを配布した。

【実績（R01.12.31まで）】　大活字本購入　３２冊（１４タイトル）
朗読ＣＤ購入　２５点（２４タイトル）
【(参考)平成３０年度実績】　大活字本購入１１１冊（４４タイトル）
朗読ＣＤ購入　３７点（３１タイトル）

②図書館で所蔵する視聴覚資料を活用し、年間を通じて市内３図書館で名画鑑賞会を開催した。「秋のトショロ月間」では、映画会ボランティアの企画による「ようこそ！秋はミステリーの世界へ」の特集上映のほか、社会教育推進員の企画による「図書館で楽しむオペラ」（オペラ「カヴァレリア・ルスティカーナ」のＤＶＤ上映）を開催した。

【実績】映画会ボランティア企画「ようこそ！秋はミステリーの世界へ」
６回開催（中央２回、長浦３回、平川１回）　参加者数合計３１０名
社会教育推進員企画「図書館で楽しむオペラ」　参加者数３６名
【(参考)平成３０年度実績】
「映画のグルメ－映画と食のステキな関係」５回開催　参加者数合計２８２名
「歌舞伎図書館座『義経千本桜』」参加者数４０名

③「秋のトショロ月間」の期間に、県の金融広報アドバイザーを講師に迎え、高齢者を対象とした「暮らしに役立つ生活講座　老後の生活設計のあり方」を開催した。また、高齢者支援課が開催する認知症予防教室「頭の元気トレーニング」では、年間を通じて長浦おかのうえ図書館が活用されている。

【実績】「暮らしに役立つ生活講座」　参加者数７１名
【(参考)平成３０年度実績】「図書館を活用した認知症予防」　参加者数１１５名

④中央図書館で、８月の名画鑑賞会の上映前に、国立国会図書館の「れきおん（歴史的音源配信サービス)」を活用し、戦後日本の流行歌（音源は当時のＳＰレコード）の鑑賞会を行った。

【主な課題】

・高齢化の急速な進行に対応して、平成２９年度以降、長浦おかのうえ図書館には「闘病記コーナー」、中央図書館には「認知症コーナー」を設置したが、認知症予防だけでなく、介護予防や介護支援についてのニーズが高まっている

ことから、何らかの対応が必要である。（再掲）
・高齢者が利用しやすい大活字本や視聴覚資料は、今後も継続して収集していく必要がある。
・今後も、高齢者にとって関心の高い生活課題について講座を開催するとともに、図書館資料を効果的に紹介していく取り組みが必要である。

【令和２年度重点施策の主な対応策】
・市内でも高齢化の進行が著しい地域にある平川図書館に、新たに「介護予防・介護支援コーナー」をつくる。（再掲）
・大活字本や朗読ＣＤ等、高齢者が利用しやすい資料を継続的に収集する。
・高齢者にとって関心の高い生活課題について、「秋のトショロ月間」等の機会に講座を開催するとともに、関連する資料を館内の特設コーナーでも取り上げる。

４　情報化社会に対応した電子図書館サービスの充実

【主な取り組み内容と成果】
①１２月の図書館電算システム更新にあわせて、図書館のホームページをリニューアルし、パソコン版とモバイル版の自動切替、フォトニュースのコーナーやティーンズページなどの追加、読んだ本や読みたい本の「ＭＹ本棚」登録など、利用者の利便性につながる機能が向上した。また、カウンターではＩＣカード連携による貸出が可能になった。

【実績（R01.12.31 まで)】
１日当たりのホームページトップページアクセス数３０１．３件
１日当たりのホームページ総ページアクセス数１８，３３６．５件
１か月当たりのウェブ予約件数２，８１７．７件
【(参考)平成３０年度実績】
１日当たりのホームページトップページアクセス数２５５．６件
１日当たりのホームページ総ページアクセス数１９，５７６．６件
１か月当たりのウェブ予約件数２，７５６．４件

②新聞記事データベース（朝日新聞・日本経済新聞)、国立国会図書館デジタル化資料送信サービスを、市民の調査研究支援に活用した。（再掲）
③メールマガジンを月１回、号外を２回発行し、図書館及び図書館資料に関する情報提供の充実を図るとともに、図書館の公式ツイッターを随時発信し、事業の開催や図書館の資料等についてきめ細かな情報提供を行った。

【実績（R01.12.31 まで)】メールマガジン登録者数１８０名
公式ツイッターのフォロワー数３５７名
【(参考)平成３０年度実績】メールマガジン登録者数１６７名

公式ツイッターのフォロワー数１５５名

【主な課題】

・図書館のホームページをリニューアルしたが、新しいＷｅｂＯＰＡＣの操作方法や新たに追加された機能などが、まだ十分に周知されていない。
・２０代から５０代の図書館利用が少ないことから、これらの勤労世代に対する積極的な働きかけが必要である。（再掲）

【令和２年度重点施策の主な対応策】

・新しいＷｅｂＯＰＡＣの操作方法について、ホームページや図書館だよりなどで詳細にわかりやすく説明する。
・ホームページをリニューアルし、未所蔵資料のリクエスト、レファレンスをメールでも受け付けることが可能になったので、図書館に来館する時間的余裕がない勤労世代に対して周知を図る。

５　図書館運営への市民参加の推進

【主な取り組み内容と成果】

①図書館のサービス状況について、図書館協議会の協力を得ながら点検・評価を行い、その結果をホームページ上に公開することにより、図書館の運営について詳しく市民に情報提供した。
②おはなし会の充実とボランティアの増員を目指し、昨年度に養成した絵本の読み聞かせボランティアを対象に、素話を習得するおはなし会ボランティア養成講座中級編（全４回、２月修了予定）を実施し、７名のおはなし会ボランティアが新たに登録予定である。（再掲）
③中央図書館ラウンジの展示コーナーについて、資料展示ボランティアと連携し、２か月ごとに企画展示を行った。また、中央図書館の児童コーナーを、社会教育推進員の有志により季節ごとに飾りつけした。
④「秋のトショロ月間」では、映画会ボランティアの企画による「ようこそ！秋はミステリーの世界へ」の特集上映に合わせて、映画会ボランティアおすすめのミステリー映画のチラシをつくって配布した。
⑤夏のトショロ月間、秋のトショロ月間では、主催事業だけでなく、グループサークルによる発表会や作品展示、市内中学校生徒のコンサートや作品展示も行ったほか、市内中学校や高等学校の生徒によるおすすめ本の紹介・展示により、図書館利用の増につながった。秋のトショロ月間の期間には、中央図書館で、令和２年に開催される東京オリンピック、パラリンピックを紹介するリーフレット「ぼくらオリパラ情報局」を昭和小学校４年生が作って展示したほか、社会教育推進員と企画して行った「トショロの庭Tea Time」に２１９名の参加があるなど、大変好評だった。

【実績】　秋のトショロ月間参加者（全館）１，６７６名
【(参考)平成３０年度実績】 参加者（全館）１，３５９名

⑥文芸講座終了後の講師との座談会、名画鑑賞会終了後の「シネマトーク」など、社会教育推進員や図書館ボランティアの協力を得て、講座等終了後に市民同士が感想を話し合い、交流する機会を設けた。

【実績（R01.12.31 まで)】
社会教育推進員１３名　図書館ボランティア７４名
社会教育推進員・図書館ボランティア活動回数　４４９回
【(参考)平成３０年度実績】
社会教育推進員１３名　図書館ボランティア７１名
社会教育推進員・図書館ボランティア活動回数６０５回
（H29.12.31まで　社会教育推進員・図書館ボランティア活動回数３７３回）

【主な課題】

・市人口の増に伴い、ブックスタートの対象人数が平成２９年度以降は年間で５００人を超えるようになった。ブックスタートを１日に２回実施する月もあり、また会場では、図書館利用券の発行を開始するなど、ブックスタートボランティアの負担が大きくなってきている。（再掲）
・子どもの発達段階に応じたおはなし会を推進するため、おはなし会ボランティアには、絵本の読み聞かせや素話だけでなく、幼児向けに手遊びやわらべうたなどのスキルを習得することが必要である。（再掲）
・図書館がより市民に親しまれるように、図書館ボランティアの積極的な活動を、もっと広く周知していく必要がある。

【令和２年度重点施策の主な対応策】

・ブックスタートボランティア養成講座を開催し、ブックスタートボランティアを増員する。（再掲）
・おはなし会ボランティアを対象とした「おはなし会ボランティアスキルアップ講座」を開催し、手遊びやわらべうたを習得することで、幼児向けのおはなし会の充実を図る（再掲）
・図書館ホームページの「ボランティアのページ」に、図書館ボランティアの実績や活動風景を掲載する。

議題（２）令和２年度袖ケ浦市立図書館経営方針及び重点施策（案）について

１．経営方針

図書館では、第２期教育ビジョンの基本方針の一つである「市民一人ひとりの生涯を通じた学習の支援」を推進し、「市民に親しまれる図書館活動の充実」を目指します。

そのため、第３次図書館サービス網計画に基づき、市民の多種多様・高度化する学習要求に応えるための条件整備を図り、「いつでも、どこでも、誰でも、どんな資料でも」利用できる、市民に親しまれる図書館運営に努めるとともに、「市民の書斎として、思索の場として、そして、市民のふれあいの場として」さらに充実した図書館づくりを進めます。

２．重点施策

○：継続、◎：拡充・一部新規、☆：新規事業

(1) 図書館資料の充実

利用者にとって魅力のある図書館とは、古い資料から新しい情報まで、個人個人の読書要求に応えられる資料の豊富さにあります。「図書館資料収集規程」及び「図書館資料選定基準」に基づき、図書館資料の一層の充実に努めるとともに、利用者のニーズに合致した資料の活用を図ります。

○開架書架の５％程度を更新できるように新刊図書を整備するとともに、少子高齢化社会が進行する中で、必要とされる資料の充実をはかります。また、郷土行政資料については寄贈を積極的に呼びかけます。

☆市内でも高齢化の進行が著しい地域にある平川図書館に、新たに「介護予防・介護支援コーナー」をつくり資料の充実に努めます。

◎ビジネスマナーや資料作成、職場トラブル、就職案内の本など、勤労世代の課題解決に役立つ資料を充実させ、特設コーナーでも取り上げ積極的にＰＲします。

○新聞記事、法律情報、国立国会図書館デジタル化資料などの電子図書（データベース）を提供します。地域情報の充実のため、袖ケ浦市関連の新聞記事見出し一覧を作成してホームページ上に公開するなど、市民の多種多様な調査研究を支援します。

○様々なおすすめ図書の紹介、パスファインダー（調べ方案内）の作成等を通じて、教養や調査研究等に資する情報の提供と図書館資料の活用を推進します。

○視覚障がい者用データベースを活用し、図書館利用に障がいのある人が利用しやすい資料を提供します。

【主な取り組み】
・内容の改定の頻度が高い医学書、社会福祉関連図書の充実を図り、認知症や介護、終活など高齢者の関心が高い図書を積極的に収集します。
・年間を通じて新たな「介護予防・介護支援コーナー」を市内でも高齢化の進行が著

しい地域にある平川図書館に設置し、ＰＲと資料の充実に努めます。
・２０代から５０代の勤労者層の利用を促すため、ビジネスマナーや資料作成、職場トラブル、就職案内の本など、課題解決に役立つ資料を充実させ、特設コーナーでも取り上げ積極的にＰＲします。

(2) 乳幼児期からの読書活動の推進

子どもが主体的に読書活動を行うことを目指し、「第３次子ども読書活動推進計画」に基づき、学校図書館や公民館図書室と連携を図りながら、乳幼児期から青少年期まで、子どもの発達に応じて読書の楽しさを実感するとともに、いつでも本に親しむことのできる読書環境の充実に向けた活動を推進します。

◎子育てや子どもの読書に関心のある多くの市民のために、「子どもの本の講座」を開催し子どもと本をつなぐための素話についての講演を行います。

◎子どもの発達段階に応じた各種おはなし会、「すきすき絵本タイム」、学校や保育所等への出張おはなし会を実施します。また、おはなし会の更なる充実とボランティアのスキルアップを目指し、おはなし会ボランティアスキルアップ講座を実施します。

◎乳幼児期からの発達段階に応じた読書活動を推進し、子どもが本に親しむ環境を一層充実させるため、４か月児を対象にブックスタートを実施します。また、ブックスタートボランティア養成講座を行い、ブックスタートの充実を図ります。

○「こどもの読書週間記念行事」や「夏のトショロ月間」等、１か月単位での読書普及活動を行い、いつでも本に親しむことのできる読書環境の充実を図ります。

○中学校、高校の図書委員会等と連携し、青少年の図書館利用喚起を図ります。

【主な取り組み】
・おはなし会ボランティアスキルアップ講座では、手遊びやわらべうたを習得することを目的とした講座を行い、幼児向けのおはなし会の充実を図ります。また、子育てや子どもの読書に関心のある市民のために、６月に「子どもの本の講座」を開催し、子どもと本をつなぐための素話についての講演を行います。
・ブックスタート事業の開催回数の増加に対応するため、ブックスタートボランティアの養成講座を開催し、ブックスタートボランティアを新たに養成します。

(3) 高齢化社会に対応した図書館サービスの充実

急速に進展する社会の高齢化に対応するため、高齢者にも利用しやすい図書館資料や、生きがいを促進する各種事業の充実、図書館が憩いの場となるよう快適な読書環境の整備に努めます。

○大活字本や視聴覚資料などの高齢者が利用しやすい資料の収集を進めるとともに、高齢者の生活課題に即した資料の提供を積極的に進めます。

☆市内でも高齢化の進行が著しい地域にある平川図書館に、新たに「介護予防・介護支援コーナー」をつくり資料の充実に努めます。（再掲）

○豊富な視聴覚資料を活用し、映画会ボランティアとともに定期的に名画鑑賞会を開

催するほか、「秋のトショロ月間」において、高齢者に関心の高いテーマを取り上げて講座を開催します。

【主な取り組み】
・年間を通じて新たな「介護予防・介護支援コーナー」を市内でも高齢化の進行が著しい地域にある平川図書館に設置し、ＰＲと資料の充実に努めます。（再掲）
・大活字本や朗読ＣＤ等、高齢者が利用しやすい資料を今後も継続的に収集します。
・高齢者にとって関心の高い生活課題について、「秋のトショロ月間」等の機会に講座を開催するとともに、関連する資料を館内の特設コーナーなどで特化して取り上げていきます。

(4) 情報化社会に対応した電子図書館サービスの充実

情報化社会の進展に伴い、電子媒体を活用した様々な情報提供の充実や、コンピューターシステムを活用した利便性の向上に努めます。

☆リニューアルした図書館のホームページで可能になった新しいサービスやＷｅｂＯＰＡＣの操作方法について周知を図り、ホームページや図書館だよりなどを通じて詳細に、わかりやすく説明します。

○ホームページやツイッターでの情報発信、メールマガジンの配信を通じて、市民への図書館及び図書館資料に関する情報提供の充実を図ります。

○新聞記事、法律情報、国立国会図書館デジタル化資料などの電子図書（データベース）を提供します。地域情報の充実のため、袖ケ浦市関連の新聞記事見出し一覧を作成してホームページ上に公開するなど、市民の多種多様な調査研究を支援します。（再掲）

○視覚障がい者用データベースを活用し、図書館利用に障がいのある人が利用しやすい資料を提供します。（再掲）

【主な取り組み】
・ホームページや図書館だより、館内の掲示を通じて、新しいＷｅｂＯＰＡＣの操作方法や新たな機能について、より詳細にわかりやすくＰＲしていきます。
・ホームページをリニューアルし、未所蔵資料のリクエスト、レファレンスをメールでも受け付けることが可能になったので、図書館に来館する時間的余裕がない勤労世代に対して周知を図ります。

(5) 図書館運営への市民参加の推進

図書館の運営に利用者の声を反映させる仕組みづくりに努めるとともに、市民の技術や知識、経験をボランティアとして活かせる環境づくりを推進します。

○図書館のサービス状況について、図書館協議会の協力を得ながら点検・評価を行い、

その結果を市民に公表します。

○事業の充実と利用の拡大を図るために、社会教育推進員や図書館ボランティアと協働し、読書普及事業を推進します。また、図書館で活動するボランティア相互の連携を図るため、図書館ボランティア総会を開催します。

◎おはなし会の更なる充実とボランティアのスキルアップを目指し、おはなし会ボランティアスキルアップ講座を実施します。（再掲）

◎ブックスタートボランティア養成講座を行い、ブックスタートの充実を図ります。（再掲）

☆図書館ホームページの「ボランティアのページ」に、図書館ボランティアの実績や活動風景を掲載します。

○「秋のトショロ月間」の中で、図書館を利用するグループサークル等に学習成果を発表する場を提供します。

【主な取り組み】

・おはなし会ボランティアスキルアップ講座では、手遊びやわらべうたを習得することを目的とした講座を行い、幼児向けのおはなし会の充実を図ります。また、子育てや子どもの読書に関心のある市民のために、６月に「子どもの本の講座」を開催し、子どもと本をつなぐための素話についての講演を行います。（再掲）

・ブックスタート事業の開催回数の増加に対応するため、ブックスタートボランティアの養成講座を開催し、ブックスタートボランティアを新たに養成します。（再掲）

・図書館ホームページの「ボランティアのページ」に、図書館ボランティアの実績や活動風景を掲載します。

議題（３）令和元年度夏・秋のトショロ月間の実施結果について

令和元年度夏のトショロ月間実績結果

夏のトショロ月間テーマ「図書館で、夏をすずしくたのしもう！」

夏休み期間中に、子どもの知的好奇心を刺激する講座や親子で読書を楽しむ様々な催しを「夏のトショロ月間」として１ヶ月間にわたり行いました。

書庫探検や社会教育推進員が企画した「はらぺこあおむしの手づくり工作」、「マザーグースでてあそび」、また今年度の新しい企画として「じぶんでピッ！してみよう」、「平岡公民館図書室レファレンスデー」など様々な催しを行いました。「なつやすみとしょかんであそぼう」では、おはなし会に袖ヶ浦高校の生徒さんの協力も得て、参加者からも好評でした。また職場体験の中学生 4 人も積極的に子どもたちと関わっていました。

7 月 18 日（木）～8 月 18 日（日）　参加者数　2,163 名

（平成 30 年度参加者数 1,364 名）

①参加企画［会場］全館・全図書室

回	日　　時	事　業　名	内　容	参加人数
1	募集：7 月 18 日（木）～8 月 18 日（日） 掲示：～8 月 29 日（木）	おしえて！きみのすきな本	パネルに、子どもにおすすめの本を書いてもらった用紙を掲示。	481 名
2	7 月 2 日（火）～8 月 29 日（木）	宿題おたすけコーナー	夏休みの宿題に役立つ工作、調べ学習、読書感想文についての本を集めたコーナーを設置	

②集会事業　［会場］中央図書館

回	日　　時	事　　業　　名	講　　師　　等	参加人数
1	7 月 30 日（火） 14：00～15：30	書庫探検～誕生日の出来事を調べてみよう！	職員	21 名
2	7 月 30 日（金） 10：30～11：00	ちょっぴりこわいおはなし会	おはなし会ボランティア	102 名
3	８月 7 日（水） 13：30～15：30	はらぺこあおむしの手づくり工作	社会教育推進員	110 名
4	８月 18 日（日） 14：00～16：00	じぶんでピッ！　してみよう	職員	43 名

③集会事業　［会場］長浦おかのうえ図書館

回	日　　時	事　業　名	講　師　等	参加人数
1	7 月 21 日（日） 13:30～16：00	蔵波中学校音楽部定期演奏会	蔵波中学校音楽部	157 名
2	7 月 24 日(水) 13：30～15：30	マザーグースでてあそび	社会教育推進員	31 名
3	7 月 26 日（金） 8 月 16 日（金） 11：35～12：00	ちょっぴりこわいおはなし会	職員	7/26　54 名 8/16　50 名 計 104 名
4	7 月 28 日（日） 13：30～14：20	人形劇「ももたろう」	おかのうえ人形劇団	52 人
5	8 月 1 日（木） 10:30～15:00	なつやすみとしょかんであそぼう ①「袖高とコラボ！親子いっしょのおはなし会」 ②「わらべうたであそぼうとえほんのへや」 ③「つくってあそぼう」 ④「おおがたえほんとおはなし会」	職員 むかしむかしの会 袖ヶ浦高等学校生徒	① 44 名 ② 55 名 ③ 34 名 ④ 25 名 計 158 名
6	8 月 4 日（日） 14：30～15：30	じぶんでピッ！　してみよう	職員	57 名

④集会事業　［会場］平川図書館

回	日　　時	事　業　名	講　　師　　等	参加人数
1	7 月 21 日（日） 13：00～15：00	紙花教室	工作ボランティア	18 名

⑤かみのおはなやさん　［会場］中央図書館・長浦おかのうえ図書館

回	会　　場	日　　時	講　　師　　等	参加人数
1	中央図書館	8 月 18 日（日） 13：00～16：00	工作ボランティア	38 名
2	長浦おかのうえ図書館	8 月 4 日（日） 13：00～16：00	工作ボランティア	中止
合　　計			(1 回)	38 名

⑥平岡公民館図書室レファレンスデー　［会場］平岡公民館図書室

回	日　　時	事　業　名	講　　師　　等	参加人数
1	7月19日（金） 15：00～17：00	平岡公民館図書室 レファレンスデー	職員	5名

⑦子ども映画会　［会場］中央図書館・長浦おかのうえ図書館・平川図書館

回	会　場	上映日	上　　映　　作　　品	参加人数
1	中央図書館	7月23日（火） 11：00～11：30	ウォレスとグルミット～チーズ・ホリデー	116名
2	中央図書館	8月10日（火） 13：30～14：05	ウォレスとグルミット～ウォレスとグルミット、危機一髪！	42名
3	長浦おかのうえ図書館	7月26日（金） 11：00～11：30	こねこのぴっち	63名
4	長浦おかのうえ図書館	8月16日（金） 10：30～11：25	ぼくは王さま～たまごとめいたんてい～	74名
5	平川公民館 2階視聴覚室	8月2日（金） 10：30～11：50	劇場版ムーミン～南の海で楽しいバカンス	20名
合　　計			（5回）	315名

⑧おはなし会・おはなしのじかん・えほんのへや・わらべうたであそぼう・すきすき絵本タイム

［会場］中央図書館・長浦おかのうえ図書館・平川図書館・公民館図書室

会　場	期　　日	事　業　名	対　　象	講師等	参加人数
中央図書館	8月8日（木） 11：00～15：00	えほんのへや	2・3歳児と保護者	職員	（1回） 14名
	7月27日(日) 8月10日（土） 14：00～16：00	おはなしのじかん	4歳から小学6年生	職員	（5回） 70名
	7月23日（火） 8月6日（火） 8月13日（火） 10：30～11：00	夏休みおはなし会	4歳から小学6年生	職員 ボランティア	（3回） 201名

長浦おかのうえ図書館	８月 14 日（水） 11：00～11：15	えほんのへや	２・３歳児と保護者	職員	（１回） 10 名
	７月 28 日（日） 14：00～14：20 14：30～14：50 ８月４日（日） 14：00～14：25	おはなし会	４歳から小学６年生	職員 ボランティア	（３回） 49 名
	７月 20 日（土） ８月 17 日（土） 11：00～11：30	わらべうたであそぼう	０歳からの乳幼児と保護者	ボランティア	（２回） 45 名
平川図書館	８月２日（金） 10：00～10：25	おはなし会	４歳から小学６年生	ボランティア	（１回） ４名
根形公民館図書室	７月 18 日（木） 10：00～12：00	すきすき絵本タイム	０歳からの乳幼児と保護者	職員 ボランティア	（１回） 13 名
合　計					（17 回）　406 名

⑨展示等　［会場］中央図書館・長浦おかのうえ図書館

回	会　場	日　時	事　業　名	講師等	点数
１	中央図書館児童室	７月 18 日(木) ～ ８月 18 日(日)	昭和中学校図書委員おすすめ図書展示	昭和中学校図書委員	29 点 (31 名)
２	長浦おかのうえ図書館市民ギャラリー	８月４日（日） ～ 18 日（日）	蔵波中学校美術部員展示	蔵波中学校美術部	34 点 (34 名)

総括

昨年度と比較し全体の参加者が大幅に増加した要因として、子ども映画会と各種おはなし会をコラボで行ったこと、学童保育所と日程を調整して開催し、多くの児童の参加があったことがあげられる。また、推進員企画の「はらぺこあおむしの手づくり工作」の参加者が増えたことについては、袖ケ浦駅北側の若年層の人口増の影響と、チラシ、ポスター、ツイッターなどの、ＰＲの効果と考えられる。

令和元年度秋のトショロ月間実績結果

秋のトショロ月間「読書の秋！そうだ、図書館へ行こう！」

平成 26 年度より開始した秋の読書週間（10 月 27 日から 11 月 9 日）を含む 1 か月間にわたって開催する「秋のトショロ月間」。今年度も講演会や本を紹介する展示、「本のおたのしみ袋」など、読書・文化に触れる事業を行いました。市内小中学校との連携や図書館で活動するグループサークルの発表など、市民と図書館をつなげる事業となっています。

10 月 19 日（土）～11 月 24 日（日）参加者数 1,676 名（平成 30 年度参加者数　1,359 名）

展示点数　528 点　展示等した本の貸出数　435 冊

①集会事業　［会場］中央図書館

回	日　　時	事　業　名	講　　師　　等	参加者数
1	10 月 19 日（土） 13：30～15：00 10 月 26 日(土) 13：30～16：00 11 月 2 日（土） 13：30～15：00 15：00～15：30 （座談会）	文芸講座 「アガサ・クリスティーの世界を楽しむ」 最終回のみ終了後座談会開催	アガサ・クリスティー研究家　数藤康雄	（4 回） 120 名 ※座談会含む
2	10 月 27 日（日） 13：00～15：00	中庭イベント「トショロの庭 Tea Time」	社会教育推進員	219 名
3	10 月 27 日（日） 13：00～16：00	かみのおはなやさん	ボランティア	31 名
4	11 月 7 日（木） 10：00～11：15	映画鑑賞会「図書館で楽しむオペラ」	社会教育推進員	36 名
合　　計				（7 回）406 名

②集会事業　［会場］長浦おかのうえ図書館

回	日　　時	事　業　名	講　　師　　等	参加者数
1	10 月 20 日(日) 13：00～16：00	かみのおはなやさん	工作ボランティア	17 名
2	11 月 2 日（土） 13：30～15：30	「萌」朗読コンサート	グループサークル 朗読サークル『萌』	36 名
3	11 月 9 日（土） 13：30～14：35	大人のためのお話し会	グループサークル むかしむかしの会	16 名
4	11 月 14 日（木） 10：00～12：00	暮らしに役立つ生活講座「老後の生活設計のあり方」	金融広報アドバイザー　武田佳代子	71 名
合　　計				（4 回）140 名

③集会事業　［会場］平川図書館

回	日　　時	事　業　名	講　　師　　等	参加者数
1	11 月 23 日（土） 10：30～11：00	秋のおはなし会 「わらべうたであそぼう」 （平川公民館まつり）	職員、ボランティア	26 名
2	11 月 23 日（土） 11：00～11：30	秋のおはなし会 「親子いっしょのおはなし会」 （平川公民館まつり）	職員、ボランティア	27 名
3	11 月 24 日（日） 10：00～15：00	かみのおはなやさん （平川公民館まつり）	ボランティア	53 名
合　　計				（3回）106 名

④集会事業　［会場］根形公民館図書室

回	日　　時	事　業　名	講　　師　　等	参加者数
1	11 月 2 日（土） 10：00～15：00	かみのおはなやさん （根形公民館まつり）	ボランティア	78 名
2	11 月 3 日（日） 10：00～12：00	すきすき絵本タイム （根形公民館まつり）	職員、ボランティア	46 名
合　　計				（2回）124 名

⑤集会事業　［会場］平岡公民館図書室

回	日　　時	事　業　名	講　　師　　等	参加者数
1	11 月 2 日（土） 10：00～12：00	すきすき絵本タイム （平岡公民館まつり）	職員、ボランティア	51 名
2	11 月 3 日（日） 10：00～15：00	かみのおはなやさん （平岡公民館まつり）	ボランティア	70 名
3	11 月 17 日（日） 10：00～10：30	大型えほんとわらべうた	ボランティア	32 名
合　　計				（3回）153 名

⑥展示・貸出　［会場］中央図書館

回	日　　時	事　業　名	内　　容	展示数・貸出数
1	10 月 19 日（土） ～11 月 24 日(日)	ぼくらオリパラ情報局　昭和小４年生リーフレット展示	昭和小学校４年生が作成したオリンピック・パラリンピックのリーフレット展示。オリンピック・パラリンピック関連図書の展示と貸出	リーフレット 104 点展示 (104 名) 関連図書 85 冊展示 うち 7 冊貸出

⑦展示・貸出　［会場］長浦おかのうえ図書館

回	日　　時	事　業　名	内　　容	展示数・貸出数
1	10 月 19 日（土） ～11 月 24 日(日)	こんな本もあったんだ！？ちょっとマニアックな本たち	ちょっとマニアックな図鑑など、図書館に隠れている本の展示と貸出	230 冊展示 うち 188 冊貸出

⑧展示・貸出　［会場］平川図書館・根形公民館図書室・平岡公民館図書室

回	日　　時	事　業　名	内　　容	貸出数
1	10 月 19 日（土） ～11 月 24 日(日)	本のおたのしみ袋	テーマごとに関連図書３冊を選んで紙袋に入れて、中身を見ずに借りてもらう 平川 40 袋、根形 22 袋・平岡 18 袋用意	平川 40 袋貸出 根形 22 袋貸出 平岡 18 袋貸出 計 80 袋貸出 (240 冊貸出)

⑨展示　［会場］中央図書館

回	日　　時	事　業　名	内　　容	展示数
1	９月 28 日（土） ～11 月 24 日(日)	図書館登録サークルの作品展示	9 月 28 日（土）～10 月 30 日（水） やまゆり俳句会展示	17 点 (18 名)
			11 月１日（金）～11 月 24 日（日） 短歌そでがうら展示	18 点 (９名)
2	10 月 26 日（木） ～ 12 月 26 日（木）	袖ヶ浦高校おすすめ本の展示	袖ヶ浦高校の図書委員が作成したおすすめ本ディスプレイの展示	14 点 (14 名)

⑩展示　［会場］長浦おかのうえ図書館

回	日　　時	事　業　名	内　　容	展示数
1	10月19日（土） ～11月24日(日)	図書館ボランティア紹介展示	図書館ボランティアの活動などを紹介する展示	６種

⑪展示　［会場］平川図書館

回	日　　時	事　業　名	内　　容	展示数
1	11月１日（金）～ 11月24日（日）	平川中学校おすすめ本の展示	平川中学校の図書委員と１年生のおすすめ本紹介展示	54点 （54名）

⑫映画会　［会場］中央図書館・長浦おかのうえ図書館・平川図書館

会　　場	上　映　日	上　映　作　品	参加人数
中央図書館	10月20日(日) 13：30～14：05	子ども映画会「14ひきのかぼちゃ／14ひきのひっこし」	49名
	10月24日(木) 10：00～12：15	秋の名画鑑賞会『ようこそ！秋はミステリーの世界へ』 「ナイル殺人事件」	39名
	11月21日(木) 10：00～12：00	秋の名画鑑賞会『ようこそ！秋はミステリーの世界へ』 「ゆれる」	40名
長浦おかのうえ図書館	10月19日(土) 10：30～10：55	子ども映画会 「いないいないばあ」	30名
	10月23日(水) 10：00～12：00	秋の名画鑑賞会『ようこそ！秋はミステリーの世界へ』 「情婦」	85名
	11月６日（水） 10：00～11：55	秋の名画鑑賞会『ようこそ！秋はミステリーの世界へ』 「金田一耕助の冒険」	52名
	11月13日(水) 10：00～11：45	秋の名画鑑賞会『ようこそ！秋はミステリーの世界へ』 「風の視線」	80名
平川図書館	10月25日(金) 10：00～11：15	秋の名画鑑賞会『ようこそ！秋はミステリーの世界へ』 「幽霊列車」	14名
	11月23日(土) 11：30～12：05	子ども映画会（平川公民館まつり） 「14ひきのこもりうた／14ひきのやまいも」	27名
合　　計			（９回）416名

⑬おはなしのじかん・おはなし会・えほんのへや・わらべうたであそぼう

［会場］中央図書館・長浦おかのうえ図書館

会　　場	期　　日	事　業　名	対　　象	講師等	参加人数
中央図書館	10月20日(日)、11月10日(日)、11月24日(日)14：00～16：00	おはなしのじかん	４歳から小学６年生	職員、ボランティア	(５回)72名
	11月7日（木）11：00～	えほんのへや	２・３歳児と保護者	職員	10名
長浦おかのうえ図書館	10月20日(日)11月16日(土)14：00～14：25	おはなし会	４歳から小学６年生	職員、ボランティア	(２回)13名
	11月13日(水)11：00～	えほんのへや	２・３歳児と保護者	職員	４名
	10　月　19　日（土)、11月16日（土）11：00～	わらべうたであそぼう	０歳からの乳幼児と保護者	ボランティア	(２回)33名
合　　計					(11回) 132名

総括

昨年度と比較し、参加者が大幅に増加した要因として、中庭イベント「トショロの庭Tea Time」においておさかなつりゲームを実施し、家族で参加できる催しとして好評であったことがあげられる。また、開催期間が昨年度より長かったこともあり、参加者数は全体的に増加した。

令和元年度秋のトショロ月間実績報告

秋のトショロ月間「読書の秋！そうだ、図書館へ行こう！」

平成26年度より開始した秋の読書週間（10月27日から11月９日）を含む１か月間にわたって開催する「秋のトショロ月間」。今年度も講演会や本を紹介する展示、「本のおたのしみ袋」など、読書・文化に触れる事業を行いました。市内小中学校との連携や図書館で活動するグループサークルの発表など、市民と図書館をつなげる事業となっています。

10月19日（土）～11月24日（日）参加者数1,676名（平成30年度参加者数　1,359名）

展示点数　528点　展示等した本の貸出数　435冊

①集会事業　［会場］中央図書館

回	日　　時	事　業　名	講　　師　　等	参加者数
1	10月19日（土） 13：30～15：00 10月26日（土） 13：30～16：00 11月２日（土） 13：30～15：00 15：00～15：30 （座談会）	文芸講座 「アガサ・クリスティーの世界を楽しむ」 最終回のみ終了後座談会開催	アガサ・クリスティー 研究家　数藤康雄	（４回） 120名 ※座談会 含む
2	10月27日（日） 13：00～15：00	中庭イベント「トショロの庭Tea Time」	社会教育推進員	219名
3	10月27日（日） 13：00～16：00	かみのおはなやさん	ボランティア	31名
4	11月７日（木） 10：00～11：15	映画鑑賞会「図書館で楽しむオペラ」	社会教育推進員	36名
合　　計				（７回）406名

②集会事業　［会場］長浦おかのうえ図書館

回	日　　時	事　業　名	講　　師　　等	参加者数
1	10月20日(日) 13：00～16：00	かみのおはなやさん	工作ボランティア	17名
2	11月２日（土） 13：30～15：30	「萌」朗読コンサート	グループサークル 朗読サークル『萌』	36名
3	11月９日（土） 13：30～14：35	大人のためのお話し会	グループサークル むかしむかしの会	16名

4	11 月 14 日（木） 10：00～12：00	暮らしに役立つ生活講座 「老後の生活設計のあり方」	金融広報アドバイザー 武田佳代子	71 名
合　　計				（4 回）140 名

③集会事業　［会場］平川図書館

回	日　　時	事　業　名	講　　師　　等	参加者数
1	11 月 23 日（土） 10：30～11：00	秋のおはなし会 「わらべうたであそぼう」 （平川公民館まつり）	職員、ボランティア	26 名
2	11 月 23 日（土） 11：00～11：30	秋のおはなし会 「親子いっしょのおはなし会」 （平川公民館まつり）	職員、ボランティア	27 名
3	11 月 24 日（日） 10：00～15：00	かみのおはなやさん （平川公民館まつり）	ボランティア	53 名
合　　計				（3 回）106 名

④集会事業　［会場］根形公民館図書室

回	日　　時	事　業　名	講　　師　　等	参加者数
1	11 月 2 日（土） 10：00～15：00	かみのおはなやさん （根形公民館まつり）	ボランティア	78 名
2	11 月 3 日（土） 10：00～12：00	すきすき絵本タイム （根形公民館まつり）	職員、ボランティア	46 名
合　　計				（2 回）124 名

⑤集会事業　［会場］平岡公民館図書室

回	日　　時	事　業　名	講　　師　　等	参加者数
1	11 月 2 日（土） 10：00～12：00	すきすき絵本タイム （平岡公民館まつり）	職員、ボランティア	51 名
2	11 月 3 日（日） 10：00～15：00	かみのおはなやさん （平岡公民館まつり）	ボランティア	70 名
3	11 月 17 日（日） 10：00～10：30	大型えほんとわらべうた	ボランティア	32 名
合　　計				（3 回）153 名

⑥展示・貸出　［会場］中央図書館

回	日　　時	事　業　名	内　　容	展示数・貸出数
1	10月19日（土） ～11月24日(日)	ぼくらオリパラ情報局　昭和小４年生リーフレット展示	昭和小学校４年生が作成したオリンピック・パラリンピックのリーフレット展示。オリンピック・パラリンピック関連図書の展示と貸出	リーフレット 104点展示 (104名) 関連図書 85冊展示 うち７冊貸出

⑦展示・貸出　［会場］長浦おかのうえ図書館

回	日　　時	事　業　名	内　　容	展示数・貸出数
1	10月19日（土） ～11月24日(日)	こんな本もあったんだ！？ちょっとマニアックな本たち	ちょっとマニアな図鑑など､図書館に隠れている本の展示と貸出	230冊展示 うち188冊貸出

⑧展示・貸出　［会場］平川図書館・根形公民館図書室・平岡公民館図書室

回	日　　時	事　業　名	内　　容	貸出数
1	10月19日（土） ～11月24日(日)	本のおたのしみ袋	テーマごとに関連図書３冊を選んで紙袋に入れて、中身を見ずに借りてもらう 平川40袋、根形22袋・平岡18袋用意	平川40袋貸出 根形22袋貸出 平岡18袋貸出 計80袋貸出 (240冊貸出)

⑨展示　［会場］中央図書館

回	日　　時	事　業　名	内　　容	展示数
1	９月28日（土）～ 11月24日（日）	図書館登録サークルの作品展示	９月28日（土）～10月30日（水） やまゆり俳句会展示	17点 (18名)
			11月１日（金）～11月24日（日） 短歌そでがうら展示	18点 (９名)
2	10月26日（木）～ 12月26日（木）	袖ヶ浦高校おすすめ本の展示	袖ヶ浦高校の図書委員が作成したのおすすめ本ディスプレイの展示	14点 (14名)

⑩展示　［会場］長浦おかのうえ図書館

回	日　　時	事　業　名	内　　容	展示数
1	10月19日（土）～	図書館ボランティ	図書館ボランティアの活動など	６種

	11 月 24 日（日）	ア紹介展示	を紹介する展示	

⑪展示　［会場］平川図書館

回	日　　時	事　業　名	内　　容	展示数
1	11 月 1 日（金）～ 11 月 24 日（日）	平川中学校おすすめ本の展示	平川中学校の図書委員と 1 年生のおすすめ本紹介展示	54 点 （54 名）

⑫映画会　［会場］中央図書館・長浦おかのうえ図書館・平川図書館

会　場	上 映 日	上 映 作 品	参加人数
中央図書館	10 月 20 日（日） 13：30～14：05	子ども映画会 「14 ひきのかぼちゃ／14 ひきのひっこし」	49 名
	10 月 24 日（木） 10：00～12：15	秋の名画鑑賞会『ようこそ！秋はミステリーの世界へ』 「ナイル殺人事件」	39 名
	11 月 21 日（木） 10：00～12：00	秋の名画鑑賞会『ようこそ！秋はミステリーの世界へ』 「ゆれる」	40 名
長浦おかのうえ図書館	10 月 19 日（土） 10：30～10：55	子ども映画会 「いないいないばあ」	30 名
	10 月 23 日（水） 10：00～12：00	秋の名画鑑賞会『ようこそ！秋はミステリーの世界へ』 「情婦」	85 名
	11 月 6 日（水） 10：00～11：55	秋の名画鑑賞会『ようこそ！秋はミステリーの世界へ』 「金田一耕助の冒険」	52 名
	11 月 13 日（水） 10：00～11：45	秋の名画鑑賞会『ようこそ！秋はミステリーの世界へ』 「風の視線」	80 名
平川図書館	10 月 25 日（金） 10：00～11：15	秋の名画鑑賞会『ようこそ！秋はミステリーの世界へ』 「幽霊列車」	14 名

	11 月 23 日（土） 11：30～12：05	子ども映画会（平川公民館まつり） 「14 ひきのこもりうた／14 ひきのやまいも」	27 名
合　　計			（9回）416 名

⑬おはなしのじかん・おはなし会・えほんのへや・わらべうたであそぼう

［会場］中央図書館・長浦おかのうえ図書館

会　　場	期　　日	事　業　名	対　　象	講 師 等	参加人数
中央図書館	10 月 20 日（日）、 11 月 10 日（日）、 11 月 24 日（日） 14：00～16：00	おはなしのじかん	４歳から 小学６年生	職員、ボランティア	（５回） 72 名
	11 月 7 日（木） 11：00～	えほんのへや	２・３歳児と保護者	職員	10 名
長浦おかのうえ図書館	10 月 20 日(日) 11 月 16 日（土） 14：00～14：25	おはなし会	４歳から 小学６年生	職員、ボランティア	（２回） 13 名
	11 月 13 日（水） 11：00～	えほんのへや	２・３歳児と保護者	職員	４名
	10 月 19 日（土）、 11 月 16 日（土） 11：00～	わらべうたであそぼう	０歳からの乳幼児と保護者	ボランティア	（２回） 33 名
合　　計					（11 回）132 名

令和元年度「本・雑誌リユース・デー」実施報告について

１．提供冊数　約１２，５００冊

（一般書　約７，０００冊、　児童書　約３，５００冊、　雑　誌　約２，０００冊）

(参考)　平成２９年度提供冊数　約７，０００冊

（一般書　約４，０００冊、　児童書　約１，０００冊、　雑　誌　約２，０００冊）

２．場所

長浦おかのうえ図書館　視聴覚室・大会議室・小会議室

３．実績

（１）事前提供

２月１２日（水）～２日１３日（木）　場所　長浦おかのうえ図書館

市内の保育所、幼稚園、小中学校、子育て支援拠点、学童保育所、養護施設、高齢者施設等７６団体に呼びかけ、

３４団体が参加し、１，７６４冊を提供

※内訳＜一般書：３２４冊、児童書：９５２冊、雑誌：３４５冊、寄贈：１４８冊＞

＊参加団体内訳

昭和小学校	袖ケ浦桜ケ丘幼稚園
奈良輪小学校	子どもるーぷ袖ケ浦
蔵波小学校	学童保育子ども会館フレンドクラブ
長浦小学校	根形小学校区放課後児童クラブ
中川小学校	中川小学校区放課後児童クラブ
平岡小学校	社会福祉協議会
昭和中学校	東京都千葉福祉園
長浦中学校	特別養護老人ホーム袖ケ浦菜の花苑
蔵波中学校	老人保健施設 カトレアンホーム
福王台保育所	ひらかわオレンジカフェ　ウエルカフェ（横田　ウエルシア内）
久保田保育所	袖ケ浦瑞穂 特別養護老人ホーム
吉野田保育所	介護老人保健施設メディケアーやまゆり
白ゆり保育園	認知症ケアラーズカフェ「のぞみの」
子育て支援センター「ゆうゆう」	長浦公民館
みどりの丘保育園	郷土博物館
認定こども園まりん	ながうら健康福祉支援室
代宿児童館	ひよこの会

（参考）平成２９年度事前提供　　５８団体に呼びかけ、３６団体が参加し、１，３０６冊を提供

内訳＜一般書：６７６冊、児童書：４７９冊、雑誌：１４６冊、寄贈：５冊＞

（２）本・雑誌リユース・デー

日時　２月１６日（日）　午前９時３０分～午後３時

対象　袖ケ浦市内に在住、在勤、在学の方

図書は１人１５冊まで、雑誌の付録は３点まで、雑誌は無制限（午後１時からはすべて無制限）

参　加　者　数	提　供　冊　数	募　金　額
４５１名	約４，４８０冊	４４，７４３円

※募金４４，７４３円は、地域福祉推進に繋げるため、社会福祉法人袖ケ浦市社会福祉協議会へ納付。

※残った児童書約１，４００冊は、次回の「本・雑誌リユース・デー」で再利用するため、保管した。

※最終的に残った約４，８００冊は、市内学校（蔵波中学校）の廃品回収で引き取られた。

(参考)　平成２９年度実績

参　加　者　数	提　供　冊　数	募　金　額
３５８名	約４，２００冊	４０，７６３円

募金４０，７６３円は、地域福祉推進に繋げるため、社会福祉法人袖ケ浦市社会福祉協議会へ納付。

最終的に残った約２，８００冊は、市内学校（蔵波中学校）の廃品回収で引き取られた。

４．総括

市内の学校・保育所・各施設等に呼び掛けた事前提供は、前回の開催以降に保育所、学童保育所、老人ホームなどが市内に増設されたため、前回の５８団体から７６団体に増加した。参加団体は、３４団体（前回は３６団体）である。提供冊数は前回の１，３０６冊から１，７６４冊と増加した。

市民向けに開催した２月１６日（日）は雨にもかかわらず、開始の１時間以上前から多くの方が列に並び、参加者数は前回の３５８人から、４５１人に増加した。理由としては、事前にツイッターで会場の様子や提供する本の写真を配信したり、前日にかずさＦＭの番組で放送されるなどＰＲに努めたこと、特に児童書の提供が多いことをＰＲしたことがあげられる。会場には親子連れの姿が多くみられ、子どもたちが時間をかけて本を選ぶ様子が見られた。提供冊数は、前回の約４，２００冊から約４，４８０冊に増加した。

前回同様、待機場所の視聴覚室から会場への誘導をスクリーンに番号表示したことにより、入場はスムーズに行えた。８時３０分から受付を開始し、来場者には視聴覚室で開場まで１時間ほど待機してもらったが、その間に１１月にリニューアルした図書館ホームページのＱＲコードや、マイページの使い方の案内をスクリーンに投影した。開場から１時間程度で待たずに入場できるようになった。３階入り口で図書館への来館者にも声掛けを行い、午後からも多数の入場者があった。

また、コロナウィルス感染拡大対策として、出入り口に消毒薬を置き入場者に手指の消毒の声掛けを行い、会場の換気を行うとともに、10 名ずつ時間をおいて入場してもらうなど会場が混雑しないよう心がけた。

令和元年度図書館協議会先進地
図書館視察研修
令和元年10月30日(水)
立川市中央図書館
日野市立日野図書館

立川市中央図書館

ビジネス支援を進める図書館へ

- 立川市は多摩地域の中核都市であり、駅周辺の再開発に伴い多くの商業施設が開設された立地条件を生かし、産業観光課と連携して関連資料の整備やセミナーの開催、相談員を配置しビジネス相談を受けるなど、市内の起業希望者向けに事業を展開している。

立川市中央図書館のビジネス支援の取組

- 図書館及び行政双方の体制や予算等
- 【図書館】資料調査係　10名
- レファレンス担当職員　　6名
- 障害者サービス担当職員　3名
- 【産業観光課】商工振興係　6名
- 産業観光課予算
- ビジネス支援ライブラリー事業および創業支援事業

ビジネス支援の具体的な取り組み

- 立川市立図書館では資料、情報提供におけるビジネス支援コーナーや経済関連データベースの整備等基本的な事柄に加え、産業観光課採用の相談員が平日は週2日、第1.3の土日にビジネス相談の受付を行っている。起業相談だけではなく、就労相談も多く、50代、60代の男性が多い。具体的な起業のノウハウというよりは、実際に銀行等の相談に行く前段階での情報収集や入門的な知識を得るために利用している。

立川市地域経済活性化推進員について

- 立川市地域経済活性化推進員（相談員）の相談業務を開始。
- 立川市地域経済活性化推進員設置要綱に基づき市長が任命する。中小企業支援機関、地域金融機関、雇用就業支援機関、中小企業診断士など中所企業支援に習熟していることが条件
- 毎週火曜日、金曜日、第1・3土曜日の10時～17時に実施
- 職員研修は専門性が求められるため、都立図書館で開催されるビジネス支援研修に参加している。

日野市立日野図書館

地域に根差した図書館へ

- 地域の方から送られた日野宿の写真資料、幕末、新選組ゆかりの資料が展示されている。
- 指定管理、業務委託の話が持ち上がった時に「図書館は何ができるか」と考え地域に出ていくことを選択する。直営により市民の考えを図書館事業にフィードバックさせていくことが必要であるとの考えから、今では地域の住民が図書館を応援してくれている。

郷土にまつわるお話の再録・学校との連携

- 日野市に伝わる昔話や伝説の記録について「日野百物語」を刊行する。和綴じの冊子も作成。地域の昔話の再話を再編纂している。
- 学校教材として「ひのっ子日野宿発見」を刊行している。文章は図書館職員、イラストは地域住民が担当する。とんがらし地蔵など地域の名物を網羅しており日野図書館にも触れられている。

地域との連携を目指す図書館

- 地域の人たちに役立つ図書館を目指すため、商店街、駅、地域の歴史と民俗の会と話し合いを重ねて日野宿発見隊を立ちあげる。現在20名が参加しており定例会でイベント企画を行っている。スタンプラリーでは日野駅前イベントに参加しお祭りにしてしまう。地元を熟知した写真家なども参加しイベントを盛り上げている。

X 図　書　館

１．経営方針

図書館では、第２期教育ビジョンの基本方針の一つである「市民一人ひとりの生涯を通じた学習の支援」を推進し、「市民に親しまれる図書館活動の充実」を目指します。

そのため、第３次図書館サービス網計画に基づき、市民の多種多様、高度化する学習要求に応えるための条件整備を図り、「いつでも、どこでも、誰でも、どんな資料でも」利用できる市民に親しまれる図書館運営に努めるとともに、「市民の書斎として、思索の場として、そして市民のふれあいの場として」さらに充実した図書館づくりを進めます。

２．重点施策

市民に親しまれる図書館活動の充実

（１）図書館資料の充実

利用者にとって魅力のある図書館とは、古い資料から新しい情報まで、個人個人の読書要求に応えられる資料の豊富さにあります。「図書館資料収集規程」及び「図書館資料選定基準」に基づき、図書館資料の一層の充実に努めるとともに、利用者のニーズに合致した資料の活用を図ります。

○開架書架の５％程度を更新できるように新刊図書を整備するとともに、少子高齢化社会が進行する中で、必要とされる資料の充実をはかります。また、郷土行政資料については寄贈を積極的に呼びかけます。

○新聞記事、法律情報、国立国会図書館デジタル化資料などの電子図書（データベース）を提供します。地域情報の充実のため、袖ケ浦市関連の新聞記事索引を作成してホームページ上に公開するなど、市民の多種多様な調査研究を支援します。

○様々なおすすめ図書の紹介、パスファインダー（調べ方案内）の作成等を通じて、教養や調査研究等に資する情報の提供と図書館資料の活用を推進します。

○視覚障がい者用データベースを活用し、図書館利用に障がいのある人が利用しやすい資料を提供します。

（２）乳幼児期からの読書活動の推進

子どもが主体的に読書活動を行うことを目指し、「第３次子ども読書活動推進計画」に基づき、学校図書館や公民館図書室と連携を図りながら、乳幼児期から青少年期まで、子どもの発達に応じて読書の楽しさを実感するとともに、いつでも本に親しむことのできる読書環境の充実に向けた活動を推進します。

○子どもの発達段階に応じた各種おはなし会、「すきすき絵本タイム」、学校や保育所等への出張おはなし会を実施します。

○おはなし会の更なる充実とボランティアのスキルアップを目指し、おはなし会ボランティア養成講座中級編を実施します。

○乳幼児期からの発達段階に応じた読書活動を推進し、子どもが本に親しむ環境を一層充実させるため、４か月児を対象にブックスタートを実施します。

○「こどもの読書週間記念行事」や「夏のトショロ月間」等、１か月単位での読書普及活動を行い、いつでも本に親しむことのできる読書環境の充実を図ります。

○中学校、高校の図書委員会等と連携し、青少年の図書館利用喚起を図ります。

（3）高齢化社会に対応した図書館サービスの充実

急速に進展する社会の高齢化に対応するため、高齢者にも利用しやすい図書館資料や、生きがいを促進する各種事業の充実、図書館が憩いの場となるよう快適な読書環境の整備に努めます。

○大活字本や視聴覚資料等、高齢者が利用しやすい資料の収集を積極的に進めるとともに、高齢者の生活課題に即した資料の提供を積極的に進めます。

○豊富な視聴覚資料を活用し、映画会ボランティアとともに定期的に名画鑑賞会を開催するほか、「秋のトショロ月間」において、高齢者に関心の高いテーマを取り上げて講座を開催します。

（4）情報化社会に対応した電子図書館サービスの充実

情報化社会の進展に伴い、電子媒体を活用した様々な情報提供の充実や、コンピュータ・システムを活用した利便性の向上に努めます。

○図書館電算システムを更新し、ホームページやＷｅｂＯＰＡＣ機能の改善を図ります。

○新聞記事、法律情報、国立国会図書館デジタル化資料などの電子図書（データベース）を提供します。地域情報の充実のため、袖ケ浦市関連の新聞記事索引を作成してホームページ上に公開するなど、市民の多種多様な調査研究を支援します。（再掲）

○ホームページのコンテンツやメールマガジンの配信、ツイッターでの情報発信を通じて、市民への図書館及び図書館資料に関する情報提供の充実を図ります。

○視覚障がい者用データベースを活用し、図書館利用に障がいのある人が利用しやすい資料を提供します。（再掲）

（5）図書館運営への市民参加の推進

図書館の運営に利用者の声を反映させる仕組みづくりに努めるとともに、市民の技術や知識、経験をボランティアとして活かせる環境づくりを推進します。

○図書館のサービス状況について、図書館協議会の協力を得ながら点検・評価を行い、その結果を市民に公表します。

○図書館で活動するボランティア相互の連携を図るため、図書館ボランティア総会を開催します。

○おはなし会の更なる充実とボランティアの増員を目指し、おはなし会ボランティア養成講座中級編を実施します。（再掲）

○事業の充実と利用の拡大を図るために、社会教育推進員や図書館ボランティアと協働し、読書普及事業を推進します。

○「秋のトショロ月間」の中で、図書館を利用するグループサークル等に学習成果を発表する場を提供します。